

# トルコの 翌日物貸出金利の引き下げについて

## ポイント① 翌日物貸出金利を10.5%に引き下げ

トルコ中央銀行は3月24日の金融政策決定会合で、市場予想に反して、市場金利の上限となる翌日物貸出金利を10.75%から10.5%に引き下げました。主要政策金利である1週間物レポレートは7.5%に、市場金利の下限となる翌日物借入金利は7.25%に、それぞれ据え置きました。これにより、政策金利のコリドー（上限金利と下限金利の幅）が縮小しました。

同中銀は声明で、先に打ち出した、3つある政策金利を最終的に一本化していく「単純化」を開始することを決めたとし、今回の翌日物貸出金利の引き下げは単純化に向けた最初の一步であると説明しました。

## ポイント② 低金利を望む政府に配慮

今回の翌日物貸出金利の引き下げ決定の背景には、最近のグローバル市場の変動が幾分緩和したことなどがあります。また、トルコのエルドアン大統領は、景気テコ入れのために消費や建設投資の刺激を優先しており、政府の利下げ圧力が高まったことなども背景にあります。

声明では、今後の金融政策の決定はインフレ見直し次第とし、金融引き締めスタンスは維持されるだろうとしました。しかし、市場には追加金融緩和が継続されるとの見方があります。

## ポイント③ トルコリラは上昇

3月24日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、トルコリラは対米ドルで前日比0.1%程度、対円で同0.6%程度のトルコリラ高となりました。

図1：政策金利の推移

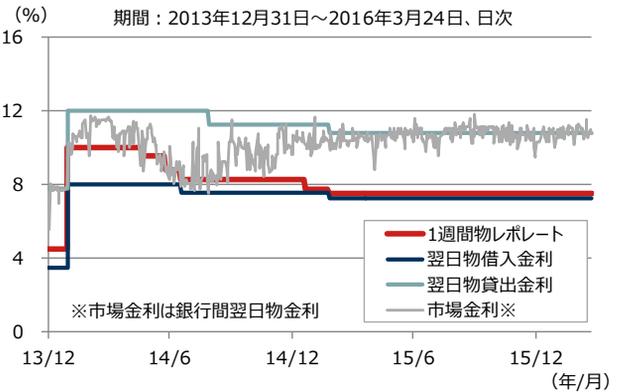


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

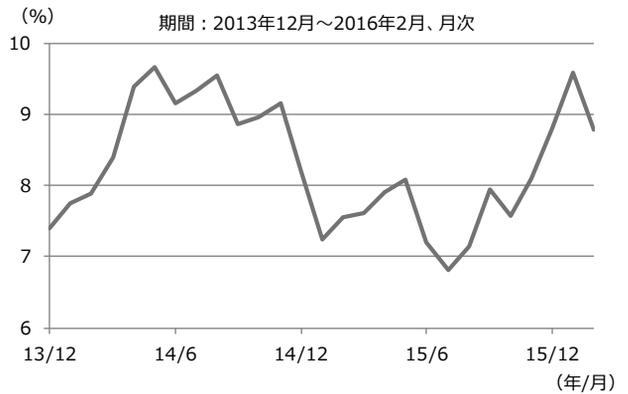


図3：為替レートの推移



（出所）Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要  
イベント

3月31日 GDP（国内総生産、10-12月期）

4月4日 消費者物価指数（3月）

4月20日 金融政策発表